



主な開発ポイント

ケンマ工法⇒ケンマⅡ工法

【押込み方向】

国土交通大臣認定 TACP-0628, 0629

項目	内容
くい径	318.5, 355.6, 406.4mmを追加
翼部径	267.4mmに対して700, 800mmを追加 318.5mmに対して650, 700, 750, 800mmを追加 355.6mmに対して750, 800, 850, 900mmを追加 406.4mmに対して850, 900, 950, 1000mmを追加
くい材の材質(1)	JIS認証品もしくは適合品、国土交通大臣の認定を受けた材料に変更
くい材の材質(2)	本体軸鋼管にSKK400, 490, HU590, SEAH590材を追加
建物の規模	延べ面積を 50,000㎡から 500,000㎡に変更
適用N値	165.2mm～406.4mmの平均N値長期荷重50、短期荷重50を確保(ケンマ工法は 190.7mm, 500mm 短期荷重35)



【引抜き方向】

建築技術性能証明GBRC性能証明 第17-32 改-1

項目	内容
支持力係数	先端支持係数 K = 65 から K = 75に変更
くい径	114.3 , 139.8 , 318.5 , 355.6 , 406.4 mmを追加
翼部径	114.3mmに対して300, 350mmを追加 139.8mmに対して350, 400mmを追加 267.4mmに対して700, 800mmを追加 318.5mmに対して650, 700, 750, 800mmを追加 355.6mmに対して750, 800, 850, 900mmを追加 406.4mmに対して850, 900, 950, 1000mmを追加
くい材の材質(1)	JIS認証品もしくは適合品、国土交通大臣の認定を受けた材料に変更
くい材の材質(2)	本体軸鋼管にSKK400, 490, HU590, SEAH590材を追加
建物の規模	延べ面積を 50,000㎡から 500,000㎡に変更
適用地盤	粘土質地盤に軟岩系岩盤(泥岩)を追加